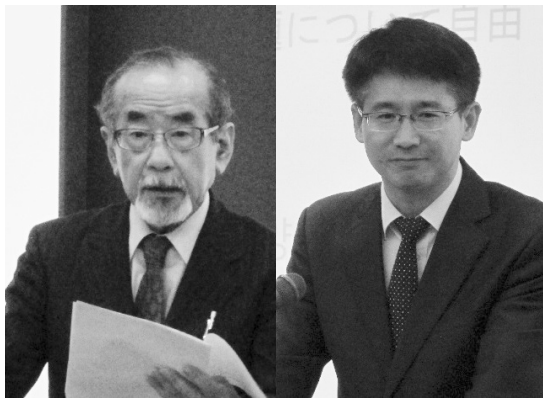


2018 年度 聖学院大学総合研究所・長老会神学大学校主催
日韓神学シンポジウム 2018（第 8 回 日韓神学者学術会議）
「キリスト教的人間論」

片柳榮一「人間的自由の現代的問題」

金道訓 「「ポジティブ心理学」および「ポジティブなキリスト教人間論」の原理と方法」



第 1 部 左：片柳榮一教授 右：白忠鉉助教授



第 2 部 左：金道訓教授 右：村瀬天出夫特任講師

2018年11月16日（金）聖学院大学にて、第8回となる韓国・長老会神学大学校との神学的学術交流シンポジウムが「キリスト教的人間論」をテーマとして開催された。今回、聖学院大学からは片柳榮一教授による「人間的自由の現代的問題」と題したご発表、長老会神学大学校からは金道訓教授による「「ポジティブ心理学」および「ポジティブなキリスト教人間論」の原理と方法」と題したご発表があり、それぞれに対して白忠鉉・長老会神学大学校助教授と村瀬天出夫・聖学院大学特任講師からレスポンスをいただいた。

片柳教授のご発表は、カフカの小説『掟の前』を題材に議論を起こし、ヴィクトール・フランクル、カント、ディートリッヒ・ボンヘッファーらの思想に言及して、人間一人一人がたった一人のものとして、問う者としてよりはむしろ問いかける者として、どのように生きるのか、与えられた自由をどのように使うのかを問いかける、その経験にこそ人間の意味があると考察した。これに応答した白助教授は5つの点から質問を投げかけられたが、これらの質問はいずれも、片柳教授の、個人的・実存的・内面的な枠組みにおける人間の自由の理解が、どのように神の存在の理解と結びつくのか、またわれわれは神をどのような神として理解するのか、という問いに収れんするもので

あった。信徒研究者として日本のアウグスティヌス研究に多大な貢献をされてきた片柳教授と、組織神学者として韓国の教会と神学を導こうとされている白助教授との間の真摯な信仰的・学術的交わりと感じられ、非常に興味深い議論であった。

金教授のご発表は、人間を幸福、つまりウェルビーイング<well-being>の観点から再考し形成しようとする「ポジティブ心理学」を神学的に適用する、ご自身の神学のこれからの構想を提示するものであった。伝統的に人格の形成への寄与が弱いと考えられたプロテスタント神学であるが、アメリカにおいては過去30年ほど、中世以来のカトリック神学、特にトマス主義神学の柱とされたアリストテレス倫理学を取り入れるプロテスタント倫理学が興隆しており、金教授の神学的試みもこの流れのなかに位置づけられるものである。西欧科学思想史がご専門の村瀬特任講師からは、「ポジティブ心理学」が「科学的」であることを強く標榜することから、「科学」の定義についての問いかけがあった。「宗教」と「科学」の境界が不明瞭であった宗教改革とまさに同時代のドイツ思想をご専門とする研究者また信徒の視点から、「科学」と「宗教」の枠組みの整理を問われる、大変刺激的なレスポンスであった。

シンポジウムの間には、申玉秀・長老会神学大

学校教授より礼拝での説教をいただいた。当日の礼拝出席者は100人を超え、毎日千人単位での出席者のある長老会神学大学校の礼拝とは規模の点では比べられないが、ともに礼拝を守ることができた。

シンポジウム外での懇親の時においても、参加者の若き日からの研究の志について、世界の様々な神学者・クリスチャンとの交わりについて、また日韓双方の社会と教会について、率直な人格的な交わりのやりとりがあった。日韓関係に難しい事件がいくつも生じている中での開催であったが、それだからこそ、双方の大学と参加者にとってかけがえのない貴重な時間と経験となったことを、心から感謝したい。

(報告者：島田由紀〔しまだ・ゆき〕 聖学院大学人文学部欧米文化学科准教授)

本

書籍のご案内

お近くの書店、Amazon.co.jpからお買い求めいただけます。

永遠の言葉

＜キリスト教概論＞

菊地 順 編著

2018年4月20日発行

2,400円（税別）

人生の糧となり、指針となり、救いへの招きとなる一冊。



聖学院大学研究叢書10

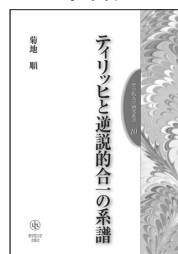
ティリッヒと逆説的合一の系譜

菊池 順 著

2018年6月25日発行

8,500円（税別）

ティリッヒは、神と人間との〈逆説的合一〉の深みから、〈存在への勇気〉を語る。



A Theology of Japan Vol.10

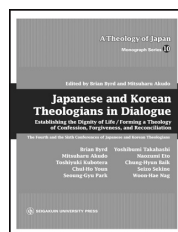
Japanese and Korean Theologians in Dialogue

Brian Byrd,

Mitsuharu Akudo, eds.

2017年11月17日発行

2016年に開催された日韓神学者学術会議の講演を収録。



近代日本キリスト者との対話

——その信の世界を探る

鵜沼裕子 著

2017年9月28日発行

3,700円（税別）

信仰主体の信仰と思想・行動の内的構造連関を共感的に再把握する。



近刊

人間の本性

——キリスト教的人間解釈

ラインホルド・ニーバー 著

高橋義文・柳田洋夫 訳

2019年4月25日発行予定

3,700円（税別）（予価）

「人間とは何か」を根源的に問い、状況に向き合う。

